

しゅうちゅうごう お
集中豪雨が起きたらあなたは？



アメニティーちゃん

こう う たい けん そう ち
降雨体験装置



とく ちょう
特徴

じかん うりょう
時間雨量10mm~180mm

1 までの降雨を段階的に体験
できます。

2 音声で雨量の説明をします。

3 一度に定員4名まで
体験できます。

うん ぱん じ
運搬時



うん てん じ
運転時



か こ お だい すい がい
過去に起きた大水害

平成27年9月関東・東北豪雨	平成27年9月11日	宮城県 (栗原市)	最大時間雨量 72mm
平成26年8月豪雨 (広島県土砂災害)	平成26年8月20日	広島県 (広島市)	最大時間雨量 121mm
平成23年7月新潟・福島豪雨	平成23年7月29日	新潟県 (十日町市)	最大時間雨量 121mm
平成16年7月新潟・福島豪雨	平成16年7月13日	新潟県 (栃尾市)	最大時間雨量 58mm
昭和57年7月豪雨	昭和57年7月23日	長崎県 (長崎市)	最大時間雨量 187mm

事前の注意

- 長靴を履き、傘をさして降雨体験をして下さい。
- 水に濡れることがありますので、ご了承下さい。
- 真ん中の通路以外の場所に立たないで下さい。

平成27年9月 関東・東北豪雨

平成27年9月11日 宮城県・最大時間雨量72mm
(栗原市)

台風18号から変わった低気圧に流れ込む南からの湿った風と、日本列島に接近していた台風17号の影響で、南北に連なる雨雲が継続して発生し、16の観測地点で最大24時間降水量が観測史上1位の値を更新するなど、栃木県や茨城県、宮城県で記録的な大雨となりました。



鬼怒川(茨城県)、渋井川(宮城県)など19河川で堤防が決壊したほか、栃木県を中心に土石流などの土砂災害が多発し、8名の尊い命が奪われました。

平成26年8月 豪雨(広島土砂災害)

平成26年8月20日 広島県・最大時間雨量121mm
(広島市)

台風12号と台風11号の相次ぐ接近と前線停滞のため、日本付近への暖かく非常に湿った空気の流れ込みが継続した影響で、20日未明、広島市を中心に1時間・3時間・24時間いずれの降水量も観測史上1位の値を更新する猛烈な雨となりました。



局地的な短時間大雨によって住宅地背後の山が崩れ、同時多発的に大規模な土石流が発生し、74名の尊い命が奪われました。

平成23年7月 新潟・福島豪雨

平成23年7月29日 新潟県・最大時間雨量121mm
(十日町市)

新潟県付近に停滞した前線に向かって暖かく非常に湿った空気が流れ込んだ影響で、新潟県と福島県会津を中心に「平成16年7月新潟・福島豪雨」を上回る記録的な大雨となり、新潟県と福島県会津の多くの地点で観測史上1位を更新する猛烈な雨となりました。



五十嵐川など6つの河川で堤防が決壊したほか、只見線や国道252号で橋が流出するなど交通機関にも大きな影響が出ました。

平成16年7月 新潟・福島豪雨

平成16年7月13日 新潟県・最大時間雨量58mm
(栃尾市)

7月12日の夜から13日の夕方、日本海から北陸地方にかけて停滞した梅雨前線により、中越地方を中心とした地域に大雨を降らせました。長岡、三条地域を中心に堤防の破堤、道路冠水、土砂災害などの被害が発生し、15名の尊い命が奪われました。

昭和57年7月 豪雨

昭和57年7月23日 長崎県・最大時間雨量187mm
(長崎市)

7月23日から25日にかけては低気圧が相次いで西日本を通過し、梅雨前線の活動が活発となりました。特に長崎県では23日夜に1時間に100mmを越える猛烈な雨が続き、長崎では3時間に313.0mm、日降水量448.0mmの豪雨となり、長崎市内を中心に土石流やがけ崩れにより、300名の死者が出るなど大きな災害が発生しました。



国土交通省北陸地方整備局

HOKUGI 防災センター〔北陸技術事務所〕

— お問い合わせ —

新潟防災センター

〒950-1101 新潟県新潟市山田2310-5

TEL:025-231-1281(代)、FAX:025-231-1281

富山防災センター

〒939-3544 富山県富山市水橋入江334-4

TEL:076-478-5511、FAX:076-478-5517